

令和7年度国際学部国際学科学学校推薦型選抜試験 討論のための課題文

- この課題文は、集団面接で行われる討論のための話題を提供するものです。
- 課題文提示室で、30分間、課題文を読みます。この紙にメモを書き込むことができます。
集団面接では、下記の〈問〉を手がかりとして、発言してください。
- 面接室に移動するときは、この紙を持って行ってください。
- 集団面接中に、自分のメモを参照すること、また、新たにメモを取ることができます。
- この紙は集団面接終了後に回収します。担当者の指示に従ってください。

〈問〉課題文を読んで、以下の設問について考えをまとめてください。

(1) 筆者がいう「魔法」とはどのようなものでしょうか。また「魔法」の問題点はどこにあると筆者は考えているのでしょうか。

(2) 「公理」や「魔法」は筆者が議論する数学などの科学においてだけではなく、人や社会の日常の営みや制度の中にもあるのではないのでしょうか。人や社会における「公理」や「魔法」と言えるものには具体的にどのようなものがあるかを、例えば、以下のことを念頭に置きながら考えてください。必ずしも以下のことに言及する必要はありません。

- ・社会における「魔法」が具体的に引き起こしている問題はあるのでしょうか。
- ・「魔法」を「公理」と思い込んでいる例はあるのでしょうか。
- ・「魔法」に対して人や社会はどのように考え、行動することが必要でしょうか。

課題文は、裏面にあります。

担当者の指示があるまで、裏返さないでください。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。